



あなたの会社に「ファーストペンギン」はいます～??

ひろよくんのみみ
2023年3月号 No.403
<https://www.myts.co.jp>

～ 企業の安定成長の秘訣はこれだ!! ～



ロシアのウクライナ侵攻から約1年。これからは地上戦もさることながら、ドローンやミサイルを使った空中戦へと変遷して行くと思われる中で、2月4日中国の気球がアメリカ領土の上空に入ったとして撃墜されました。専制主義か民主主義かで世界が二分され、それが経済にまで影響し無駄なコストと開発が双方で発生する懸念が出ています。この無駄なコストを回避する方法はありませんかね？ また発明をしても、ドローンのように民生用の製品が軍事転用されるのは如何なものかと思えます。

発明という、自社で商品開発する事をモットーにしている会社をご紹介したいと思います。皆さんは、書類整理の開発で成長してきたキングジムはご存じでしょうか？日経ビジネスにて昨年12月から今年1月にかけて取り上げられていましたので紹介します。

キングジムの成長と安定は、発明とM&Aにより仲間を作っていく事。(M&Aに関しては、2008年株式会社アスカ商会、2014年株式会社ぼん家具、2020年ウインセス株式会社、2021年ライフオンプロダクツ、2022年株式会社エイチアイエムをグループ化しています。)

キングジムと創業者宮本家のプロフィール

年度	項目
1927年	創業者宮本英太郎氏が「特許人名簿」、「印鑑簿」を発売。
1947年	ルーズリーフ、バインダー、各種ファイルを製造販売。
1948年	株式会社名鑑堂を設立。
1961年	社名を「株式会社キングジム」に改称。
1964年	「キングファイルG」を発売。
1967年	宮本健三氏が社長に就任。
1976年	「クリアーファイル」を発売。
1982年	宮本浩三氏が社長に就任。
1988年	ラベルライター「テプラ」を発売。
1992年	宮本彰が社長に就任。
1993年	「キングファイルG」累計販売冊数1億冊、「テプラ」累計販売台数100万台突破
1996年	インドネシアに生産拠点を移管、その後マレーシア、ベトナムなどにも展開
2001年	東証2部に上場。(2005年1部に指定替え)
2008年	デジタルメモ「ポメラ」を発売
2011年	「ショットノート」を発売

キングジムの連結経営指標

単位：百万円

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
売上高	34,788	34,329	33,455	36,319	36,636
経常利益	2,089	1,636	1,489	2,755	1,338
自己資本	21,659	21,334	21,910	24,118	24,231
売上高 経常利益率	6.0%	4.7%	4.4%	7.5%	3.6%
自己資本 経常利益率	9.6%	7.6%	6.7%	11.4%	5.5%

連結経営指標からも分かるように、売上も利益もコロナ下であっても大きな変化なく推移しています。

宮本彰氏は、入社後ペーパーレス化の到来に危機感を感じ、電子機器を扱うプロジェクトを立ち上げ、「テプラ」を開発。ファイルの背表紙には殆ど企業がこのテプラでタイトルを記載しているのではないだろうか。

宮本社長曰く、「最初の挑戦者になって、先行者利益を得る!!」これこそ、群れの中で先頭を歩く「ファーストペンギン」だと。

そして、発明は10打数1安打であっても、考案してくれる社風を作りたいとも話しています。

あなたの会社に「ファーストペンギン」はいます～??